

横瀬町立横瀬中学校 学校教育目標 「よく学び **心を正し** 全力尽くす」

Learn well, **be courteous and polite,** do your best !

※ courteous 人に対して思いやりがあって礼儀正しい、丁寧  
 polite 上品な、教養のある

江戸時代初期の陽明学者で近江聖人と称えられた中江藤樹先生の教えに、「五事を正す（ごじをただす）」という言葉があります。

五事とは「**貌、言、視、聴、思**」（ぼう・げん・し・ちょう・し）を言い、それを正すとは、なごやかな顔つきをし、思いやりのあることばで話しかけ、澄んだ目でものごとを見つめ、耳を傾けて人の話を聴き、まごころをこめて相手のことを思うことです。「ふだんの生活やまわりの人々とのまじわりの中で、自ら五事を正すことが、すなわち良知をみがき、良知に到る大切な道です。」と教えています。

この五事から、横中生が中学校3年間で身に付けてほしい、「心を正す」を次のように考えました。

**Try to keep an open mind, 豊かな心を持つよう心がけよう**

◎ 「**視**、**聴**、**言**、**動**、**思**を正す」

- **「視」** 人をよく視る、観察する。
- **「聴」** 人の話をよく聴く。知識や知恵を授かる。
- **「言」** 相手に失礼のない言葉遣い。
- **「動」** 感情をむき出しにしない優雅な振る舞い。
- **「思」** じっくり物事を考え、相手に対して思いやりを忘れない心



**心を育てるブコーさん**

育てよう、  
豊かな心と人権の花



**Be courteous and polite, be kind,**

**思いやりがあって礼儀正しく、親切であれ。**

※ kindは「親切的」「優しい」「思いやりのある」